

学校規模・配置に関する検討項目及び視点

<p>＜第2分科会の検討事項＞</p> <p>社会の変化や生徒の多様化、今後の急激な生徒数の減少に対応するため、教育の機会均等や全県的バランスを考慮しつつ、学校規模・配置の方向性について検討。</p>		
<p>＜第1分科会報告の概要＞</p> <p>◆これからの高等学校の役割</p> <p>→ 社会で必要となる基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、それらを活用して課題を解決する力、さらに主体的・協働的に学習に取り組む意欲・態度を育む。</p> <p>◆学校・学科の在り方</p> <p>→ 生徒の希望に応じた学習ができる環境を整え、新しい時代を主体的に切り拓く人材の育成に取り組む。</p> <p>○普通科、職業教育を主とする専門学科それぞれの拠点となる高等学校</p> <p>○多様な教育を行う高等学校 (総合学科、複数学科設置校、各地域の実態に根ざした教育活動に取り組む学校等)</p>		
第2回・第3回	<p>＜検討項目＞</p> <p>①望ましい学校規模</p>	<p>＜視点＞</p> <p>◆各高等学校がその役割を果たすためには、どの程度の規模が必要か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通科、職業教育を主とする専門学科それぞれの拠点校 ・拠点校以外の高等学校 ・他の県立高等学校への通学が困難な地域がある高等学校
	<p>②学校配置の方策</p>	<p>◆高等学校教育を受ける機会の確保と高等学校の選択肢の確保を両立するためにはどのような学校配置を行うべきか。</p>
	<p>③統廃合の留意事項</p>	<p>◆統合が必要となるのは、どのような場合か。</p> <p>◆複数校を統合する場合には、どのような統合方法によるべきか。</p>
	<p>④普・職・総の割合</p>	<p>◆普通科・職業教育を主とする専門学科・総合学科の募集割合はどうあるべきか。</p>
	<p>⑤小規模校の方向性</p>	<p>◆通学が可能な範囲をどのように捉えるか。</p> <p>◆他の県立高等学校に通学することが困難な地域のある高等学校において、著しく生徒数が減少した場合にはどのように対応すべきか。 (対応の基準、通学支援等)</p>
	<p>⑥活性化策</p>	<p>◆教育活動の充実に向け、学校間でどのような連携・協力を行うべきか。</p> <p>◆小規模校に対してはどのような支援が必要か。</p>
	<p>⑦その他</p>	<p>◆その他、教育環境の整備としてどのような取組が必要か。 (施設・設備、教職員の資質向上、教職員定数)</p>
	<p>▷ 整理案の作成</p>	
地区部会	<p>＜第2分科会整理案について＞</p> <p>○学校規模・配置について、各地区の視点で意見交換</p>	
第4回	<p>＜学校規模・配置について（全体協議）＞</p> <p>○地区部会からの報告</p> <p>▷ 第2分科会報告案の検討・まとめ</p>	